



# 万燈通信

平成30年7月20日発行

## 実りある42日間に！（7/21～8/31） 明日から夏休み

### — 保護者の皆様には1学期の間、教育活動へのご協力たいへんありがとうございました —

7月7日から始まった太田市中体連総合体育大会では、短時間ではありますがそれぞれの部の生徒の様子を拝見したり、激励を行ったりしています。気温がたいへん高く、体調管理がたいへんな中、どの部の生徒も練習通りの力を発揮しており、試合中は身を乗り出し、試合後は感動する気持ちで一杯でした。応援しているチームの間も気持ちが一つになり、たいへん素晴らしいです。勝負事ですから勝つことは生徒の自信を高めたり、一体感を強めたりできる素晴らしいさがありますが、そのほかにも得られる部活動の意義はたいへん大きいと感じました。大会はまだ途中ですが、県大会に進んだ3年生は引き続き、大会が終了した人は新たな目標に向けて頑張ってくれることを期待します。特に、3年生は受験に向け、部員の1、2年生は先輩たちの良き伝統を引き継ぎ、さらによいチーム・集団作りに励んでほしいと思います。

さて、夏休みは部活動とともに学習の遅れを取り戻したり、また、自分の好きな学習を深めたり、日頃できない「学び」を追究したりできる貴重な期間でもあります。「最低限」の学校の宿題は早めに仕上げ、自分の「学び」の時間が作れるように、お子さんに声掛けをお願いします。そのために、ぜひ42日間の計画と1日の基本的な生活リズムを親子で一緒に考え、お子さんに実行させていただきたいと思います。本日、渡された通知表を親子でご覧になり、どこが良かったか、どこを改善するともっと良くなるか話題にさせていただけると幸いです。同時に、交通事故、携帯・スマホの長時間使用には十分注意を促してください。

学力、体力、そして長所を伸ばし、自信に満ちあふれた姿で9月3日に、元気に学校でまた会えることを楽しみにしています。また、保護者や地域の皆様に助けていただいた1学期が、本日無事終了する事に感謝申し上げます。たいへんありがとうございました。

### <表彰関係>（7月20日まで）

#### 選手も、応援も熱い 太田市中体連総合体育大会

○女子バスケットボール部	優勝	浅井 千寿、根岸 麻菜、小林 南、寺尾 彩音 穂積 奈々、福地 玲那、大谷 香怜、小林 空 小池 可恵、古澤 小雪、持田 雪乃、原島 佳奈
○陸上部	男子総合 優勝 女子総合 第3位 男女総合 優勝	
	共通男子走幅跳	第1位 有坂 悠貴
	共通男子200m	第3位 金子 健太
	2年男子100m	第1位 吉次 悠真（大会新）
	1年男子100m	第2位 砂賀 想天
	1年男子走幅跳	第2位 山内 竣也
	共通男子4×100mR	第3位 小内 奏、金子健太、吉次 悠真、有坂悠貴
	共通女子1500m	第1位 山下 真奈（大会新）
	2、3年走幅跳	第1位 鈴木ひかり
	共通女子100mH	第1位 小林 莉緒

#### その他表彰

○第40回少年の主張太田市大会	優良賞	深澤 菜々
○良い歯の子コンクール	学校代表	安部 華葉

## 「平成30年7月豪雨（西日本豪雨）」を教訓に、ご家族で確認を

—どこに避難するか、避難場所の確認をしましょう—

台風7号が九州に接近した7月3日以降、西日本を中心に降り続いた大雨により、河川の氾濫や土砂崩れ等甚大な被害が起きました。もし、ご親戚等いらっしゃるご家族がありましたら、心より御見舞申し上げます。

さて、西日本豪雨では、大災害になった原因は時間が経つにつれ様々な指摘がありますが、この度、多数の死者、行方不明者がでたことは、決して太田市においても他人事とは言えません。太田市、とりわけ休泊地区において大地震、水害等が起こった場合、どこに避難するかをご家族で話し合ってください、お子さんをはじめとするご家族の尊い命を守る行動を「平成30年7月豪雨」を教訓に、決めておいていただきたいと思います。

避難所等は、太田市HPより「太田市防災マップ」に示されていますので、家にいた場合やもし、外出中ならどこに避難するのかを確認のためご覧いただきたいと思います。休泊地区においては、以下の通りです。

### ●一時避難場所：地震等により建物が倒壊したり、屋内が危険な時に一時的に避難する場所

・休泊スポーツ広場、竜内公園

### ●避難所：建物や避難敷地があり、洪水時に避難できる場所

・休泊行政センター、休泊小学校、休泊中学校

また、6月に起きた大阪北部地震では、震度6弱の地震により登校中の小学4年生の女儿が、命を失うという痛ましい事故が起きました。お子さんが登下校する際、心配な場所がないか夏休み中、改めて確認していただきたいと思います。

## 救急救命法講習会（心肺蘇生法、AED実習）を実施しました

—消防署職員講師による2年生と教職員を対象にした講話及び実習—

人が心肺停止に陥った場合、命が助かる可能性は時間と共に減っていきませんが、心肺蘇生を行った場合、その減り方が緩やかになるといわれています。特に、救急車を呼んだ場合、救急隊が駆けつけるまでの数分間に心肺蘇生を行うことが傷病者を救うために大切です。

休泊中学校では、毎年7月、2年生の生徒全員と職員を対象に、消防署職員を講師に迎え、救急救命法講習会を行っています。今年も、胸骨圧迫とAEDの操作を中心に実習を行いました。胸骨圧迫は、胸の真ん中あたりを手のひらの付け根で写真のように圧迫します。今回は全生徒が、1分間あたり100回のペースで2分間行いました。そして、その後3～4人で、AEDの使い方を実習しました。



心肺蘇生の実習の様子

実際に使う場面はないに越したことはありませんが、世間では様々な事故が起っています。万が一の場合に備えて、全職員で危機管理意識を高めていきたいと思います。

## お知らせ

○夏休み中の土日、及び8月13日（月）～17日（金）は学校が閉校となります。平日の閉校期間に緊急連絡が必要な場合には、太田市教育委員会 学校教育課（20-7084）にお問い合わせください。

○8月31日をもって、小林千明 栄養士が退職になります。後任は現時点では、東中と休泊小の主幹栄養専門職員2名が兼務する予定です。